



令和2年1月15日	
所 属	情報指令課
所属長	本庄 芳成
電 話	06-6481-3968

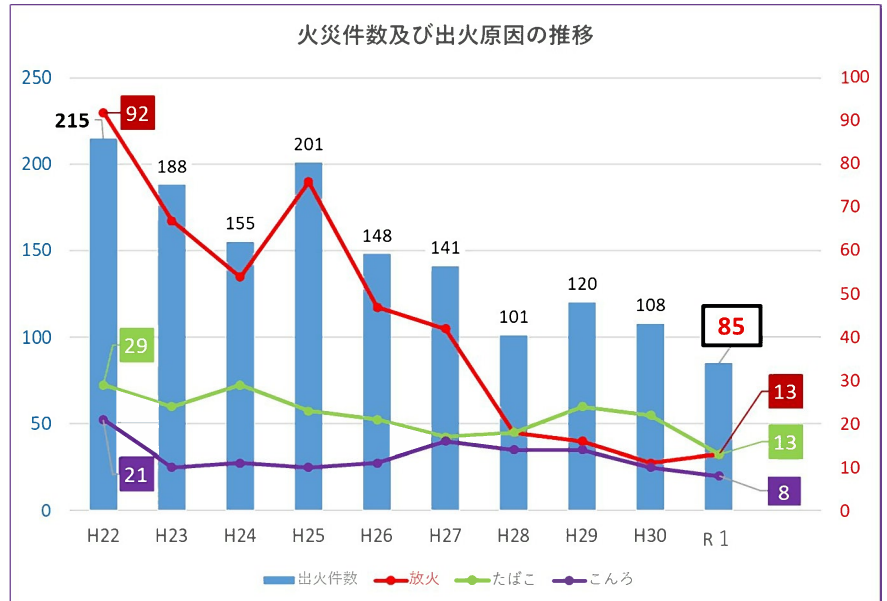
市内の火災発生件数が、64年ぶりに100件を下回りました。

令和元年中の尼崎市の火災件数は、速報値で85件（対前年23件の減少）となり、統計上、昭和30年以来64年ぶりに100件を下回りました。

出火原因上位3位は、「たばこ」と「放火（放火の疑いを含む）」がともに13件で同率1位、次に「こんろ」の8件となっています。

全国的に火災件数は減少傾向にあり、その要因として防犯カメラの普及による放火犯

罪の減少、火気器具などの性能向上、喫煙率の低下が主なものであると考えられます。



しかし、火災による死者は3人（対前年5人の減少）、負傷者は22人（対前年増減なし）となっており、依然として多くの尊い命が火災により奪われています。

火災は、起こさないことが何よりも重要ですが、消防局では、万が一火災が発生した場合、早期に発見していただくために、設置が義務化されている「住宅用火災警報器」の設置促進や維持管理を引き続き啓発するとともに、予防体制の充実を図り、市民の皆さまのご協力のもと、火災による被害と火災による死傷者の減少に尽力してまいります。

以 上